

巻 頭 言

経営情報実務学科長 野澤 智

ここに「城西経営情報研究年報」の第4号を刊行する。本誌を創刊するにあたり、本学経営情報実務学科教員の日頃の教育および研究の成果がここに発表されることは悦びに耐えない。

平成13年4月1日に学科改組を行い、経営情報実務学科として新たなスタートを切って早くも4年間を終えようとしている。4年間、色々と試行錯誤を繰り返して来たが、その努力がなかなか成果として現れてきていないのが現状である。

さて本学は、平成17年4月から名称を「城西短期大学」とする。これまでの女子短大から男女共学の新しい短大として出発する。新しいコンセプトは「基礎教育と進路選択のためのベースカレッジ」としての短大である。ベースカレッジのベースとは、基礎または、ベースキャンプを意味しており、卒業後の多様な進路に対応した基礎教育と進路選択のための豊富なカリキュラムと進学機会を提供する短大（カレッジ）であることを教育理念にしている。

昨今、進路が多様化するにつれ、高等学校3年次で自分の将来を決めることが難しくなっている。そのような状況の中で短大生活の2年間で自分の将来について深く考え、それに合ったカリキュラムを選択する。就職希望、公務員志望、四大への編入や進学希望など様々な進路が考えられる。ベースカレッジ構想では、本学の経済学部・経営学部への3年次編入以外にも理学部・薬学部1年次への転入学の機会の提供など、全学部が同一キャンパスにあるメリットを最大限に活用したカリキュラム編成を行い、様々な進路選択の機会を提供する短大としての位置付けを行っている。

短大では、職業人として社会で必要とされる基本的な知識や技能の修得はもちろんのこと、自分自身の人生設計を考える場として必要な色々な機会やカリキュラムを提供することが重要であると考え。基礎教育と進路選択のためのベースカレッジとして、本学がこれからの短大教育のひとつの方向性を打ち出すことができることを期待したい。

Chairman
Satoshi Nozawa